発行月：平成26年6月　**家族新聞**　第323号

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL　0561-51-2878

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

県道・市道アダプト
美化活動
平成26年5月25日(日)
午前8時30分。

三郷シニアクラブの人達と子供クラブが県道清掃終了後、よく公園クリーン活動もしてくれております。すばらしい団結です。

今回は市の一斉美化活動の日ですのでアダプト活動も一緒に行ないました。

二十七年二月二十八日で満十年です。アダプトプロダクトも10年ですので今後のことを検討中です。

今がチャンスです。行動起すなら、ボランティアの基礎として清掃活動は自分をみつめることと心を育む活動です。小学校、中学校の先生、生徒に行動を起こさせませんか。私でしたらやりますね!!　未来の為に勇気と決断です。

赤坂の通り、長坂通りもアダプトプログラムで数本立てました。

今年中に企画案で実行実施するつもりです。

「まちづくり」の基礎ですが本当に誰れ一人として行動を起こそうとしないこの寂しさどうですか。誰れか行動するかな。

ゴミは正しく捨てる。

現在はどの都道府県でもゴミの分別がおこなわれ、捨て方にもルールが設けられている。しかし、ルールがあれば必ずそれを逸脱する人がいるのも悲しいかな否定しがたい現実です。「把手共行」（はしゅきょうこう）という禅語があります。共に手をとって歩いていくという意味です。四国八十八か所をめぐるお遍路さんにその答がある。お遍路さんがかぶっている笠には「同行二人」と書かれている。

シニア隊も頑張っています。

一人でお遍路をしても、歩いてるのは二人なのです。一人は自分、そそ

もう一人は弘法大師空海さんです。お遍路さんが行く道には、必ず空海さんが寄り添ってくれる。

私たちは一人で生きているのではありません。いつだって心のなかの仏様と手をとり合って人生を歩いている。心のなかの仏様とは自分が持っている正しい心。美しい心といってもいいでしょう。誰れに認められなくても、仏様は見ています。

朝、五分でいいので掃除をする。「一掃除二信心」最初にやるべきことは掃除である！